



令和7年度幸松小学校グランドデザイン

6年度の学校づくりの成果をもとに7年度はより良い学校づくりを目指す！



常態のレベルアップ

子供を真ん中に据えて、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を推進していく。



笑 笑顔は、その人の輝きの象徴である。笑顔いっぱいということは、みんなが幸せな学校であるということである。校歌の歌詞にある「幸はここに幸松はここに幸松小学校」を目指していく。

楽 子供は、「楽しさの中でのびのびと向上心をもって学校生活を送ることができる。学ぶ楽しさ、集う楽しさ、伸びる楽しさ等、たくさんの楽しさがあふれる魅力いっぱいの学校づくりを行っていく。

好 自分の学校に誇りを持てるようにする。(愛校心の育成)保護者・地域の皆様・教職員も同じ。幸松笑楽好に関わるすべての人に「幸松笑楽好」が「大好き」と思ってもらえる学校づくりを行っていく。



昭和53年に制定された4つの伝統の灯を幸松っ子に日々の学校生活の中で意識させ、継承していく。

目指す児童像

自らを磨き、自分色に輝く児童

命を輝かせ！

★こつこつと努力して、自分色にみがきをかけて、自分色に輝く児童【**前向きに努力する幸松っ子**】

★たくさんの人とのかかわりの中で、光をもらい、自分色に輝く児童【**人との関わりの中で成長する幸松っ子**】

めざせ！幸松笑楽好3名人



重点 努力点

幸松っ子全員が 幸松笑楽好3名人 になることが目標

幸松っ子に対して無限の愛情を基盤に教育活動にあたる

- ①学校課題研修を核に据え、全教科等の授業を中心とした教育活動の充実により「3つの資質・能力」を育成していく
- ②体力の向上を目指し、運動に親しみ健康に生活する力を育成する
- ③心の教育の充実を目指し、思いやり・協調性・人間関係力の育成と、多様性への理解を図る
- ④安全な学校づくりを目指し、安心して通える学校、事件・事故のない学校づくりを行う
- ⑤保護者、地域、教職員がスクラムを組む学校「チーム幸松小」の創造
- ⑥インクルーシブ教育の充実、美しく潤いのある快適な教育環境づくりの推進
- ⑦子供と向き合う時間を確保し、学校教育の質の維持向上を図る働き方改革の推進
- ⑧信頼される学校づくり(教職員不祥事根絶の徹底)

目指す教師像

常に自らの資質・能力を磨き 子供一人一人を認め、伸ばす教師

- 一人一人の個性を大切にし、寄り添い、支援し、見届け、伸ばすことができる教師
- 共に学び、遊び、信頼関係の構築に努め、児童理解に努める教師
- 子供の達成感や満足感のために、子供の側に立ち授業改善や指導技術の向上を図る教師
- 心身ともに健康で、いつでも笑顔で子供に接する教師
- 問題に気付く目をもち、自ら進んで動くことができる教師
- 人間性を磨く教師(誠実さ、謙虚さ、向上心、礼儀、身だしなみ、言葉遣い 等)
- 当たり前のことを当たり前に徹底できる教師

※学級担任⇒学年担任⇒全校担任の意識で ※共通理解・共通行動・一致団結の指導